

■この事業は日本財団の助成を受けて、毎年、東京他の会場で実施しております。



「遠隔指導－アメリカの大学の講義をうけよう！」

～～ オーロニ大学(カリフォルニア州)との生中継 ～～

*オーロニ大学は、カリフォルニア州にある公立大学で、学内にデフセンターがある。当協会のパートナーシップ提携大学。

アメリカの聴覚障害者社会はどんなものか知りたい方、留学はしてみたいけれどその機会が得られていない方、アメリカ手話に触れてみたい方、日本でアメリカの大学の講義をリアルタイム（生中継）で受けることが出来る遠隔指導に参加してみませんか。直接、質疑応答も可能な貴重な機会です。

ASL（アメリカ手話）による講義をご体験ください。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

東京会場／日本ASL協会事務所

*アメリカ手話／日本手話の通訳はありません。

*配布資料は、英文のみとなります。

第3回 1月23日(土) 午前10時～11時半

(カリフォルニア時間1月22日(金)午後5時～6時半)

テーマ：

「Deaf, Hard of Hearing, Hearing Impaired : Are labels Important?」

講師：Dr. Thomas Holcomb（オーロニ大学 教授）

先天性ろう。

「トータルコミュニケーション」の父と呼ばれる Roy K. Holcomb を父に持つ。両親、兄弟共に教育者の教育一家。

ギャロデット大学「心理学」学士号、ロチェスター工科大学「キャリア開発」博士号、ロチェスター大学「教育課程と指導法」修士号をそれぞれ取得。「Deaf Culture, Our Way」(書籍)、「See What I Mean」(DVD)など多数を刊行している。



(オーロニ大学ウェブサイトより)

ろう学分野で
全米で著名な
教授。数度の
来日で日本でも
お馴染み！

京都会場／全国手話研修センター

*アメリカ手話／日本手話／日本語音声の通訳付き。

*配布資料には、日本語訳が付きまます。

1月29日(金) 午後6時30分～1月30日(土) 午後2時30分

(カリフォルニア時間1月29日(金)午後～夜)

2日間集中講座

※東京で12/13, 1/16, 1/23の3日間に行なわれる遠隔指導講義をまとめて実施します。

※宿泊ご希望の方には、コミュニティ嵯峨野を特別割引で斡旋いたします。(受付：1月21日まで)

<スケジュール>

1/29 (木)	18:30～20:30	アメリカ手話(ASL)指導	日本人講師
1/30 (金)	9:30～	開会	
	10:00～11:20	講義1「アメリカのアジア系ろう者」	
		講師：ウィリアム ウォン教授（オーロニ大学）	
	11:30～12:50	講義2「英語への挑戦：ろう者のアメリカでの生活や学習」	
		講師：ナンシー ポーリウコニス教授（オーロニ大学）	
	13:00～14:20	講義3「ろう者、難聴者、聴覚障害者：ラベルは大切か」	
		講師：トーマス ホルコム教授（オーロニ大学）	
	14:30	閉会	

ウィリアム ウォン教授(左)、ナンシー ポーリウコニス教授(中)、トーマス ホルコム教授(右)



●参加費：無料 どなたでもご参加いただけます。

ただし、定員を超えた場合は聴覚障害者からの申し込みを優先とさせていただきます。

●その他：・準備の都合上、各開催日前日までに下記まで参加申し込みください。

・過去の様子等は、右記のURLでご覧頂けます。http://www.npojass.org/nf/nfhomepage.html#videoconf



【お問い合わせ／お申し込み】NPO 法人日本ASL協会

〒102-0072 千代田区飯田橋 3-3-11-701

Fax: 03-3264-8977 http://www.npojass.org

E-mail: office@npjass.org(代表)、ryugaku@npjass.org(本事業専用)